

説明書

※このマニュアルは将来参照できるよう保管しておいてください。

注意が必要な事項

この製品は精密電子製品であるため、使用に際しては特別な注意が必要です。

1. 製品を電磁環境から遠ざけてください。過度の湿気、煙、塵などの過酷な環境から遠ざけてください。
2. 製品を分解したり、変形させたりしないでください。
3. 機械の清掃には腐食性または研磨性の洗剤を使用しないでください。
4. デバイスを水に浸さないでください。
5. 製品を押し出す際に力を入れすぎないでください。
6. 直射日光や火気を避け、高温、低温を避けて保管してください。
7. 製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
8. 使用する前に音量を下げておくことをお勧めします。適切な音量になるまで徐々に音量を上げてください。

聴覚を保護するために、音量を上げすぎないでください (医師は、長時間大きな音量で聞くと聴覚に損傷を与える可能性があるとして指摘しました)。

耳鳴りが発生した場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

9. 製品が安全に設置されていることを確認し、お子様が触れたりする事故や落下を避けてください。

10. 本パソコンのUSBを長時間パソコンに接続していると本体が熱くなります。通常は2時間で充電を完了できます。

充電が完了したら、USB インターフェースから取り外し、長時間充電しないことをお勧めします。

11. 許可なくこの機械を分解しないでください。分解すると、保証の権利が失われます。ご不明な点がございましたら、販売店にお問い合わせください。

12. 製品の性能および機能による変更は通知されません。

記載されている製品仕様が実機と矛盾していることが判明した場合は、実機が優先されるものとします。

13. 運転、サイクリング、機械の操作、または外部の音に注意を払う必要がある作業に従事するときは、ヘッドフォンを使用しないでください。

14. バッテリー充電時の注意事項:

a) 本機のバッテリーはポリマーリチウム電池であり、充電して繰り返し使用できます。「最初の数回の充電では、バッテリーを少なくとも2時間充電する必要があり、毎回バッテリーを使い切ってから充電することで、寿命を延ばすことができます。

b) 再生時間を長くするために、完全に充電した後、30分間充電を続けることをお勧めします。

c) リチウム電池の交換は顧客サービス担当者が行う必要があり、ユーザーが自分で交換することはできません

(注: 電池を不適切に交換すると爆発の危険が生じる可能性があり、交換できるのは同じ種類または同等の種類のみです)。環境を保護するために、廃バッテリーの処理は自治体の指示に従って下さい。

d) 電池の寿命は使用条件や製造時期により異なります。

15. 充電: このマシンは国家規格を満たす5V1000mA以上のアダプターを使用して充電できます。本製品の電源が入っているかどうかに関係なく、アダプターに本製品を接続していれば充電できます。

充電中、製品の温度がある程度上昇しますが、これは正常な現象です。

※機能説明: (別のモデルを購入するには、上図のボタンを押して操作を定義します) 充電

1. アダプターを介して充電: 充電する前にアダプターを電源に接続し、USB ケーブルの一端をアダプターに差し込み、もう一方の端をレコーダーの USB インターフェースに接続して充電します。通常の状態ですら約2時間でフル充電できます。(5V 1000mA電源アダプターを使用してください)

2. パソコンのUSB経由で充電: 標準USBケーブルの一端をパソコンのUSBソケットに差し込み、もう一端をレコーダーのUSBソケットに差し込んで充電すると同時に、レコーダーをモバイルディスクとして使用できます。(パソコンのUSBコネクタを使用して充電する場合、アダプタを使用して充電する場合よりも時間がかかります。)

* PCのUSBコネクタで充電する場合、PCごとにUSBコネクタの電流入力容量が若干異なり、充電時間も若干異なります。PCのUSBコネクタを使用して充電することをお勧めします。充電を速くするには、電源オフの状態ですら充電してみてください。※充電中、充電器とレコーダーはある程度発熱しますが、これは正常な現象です。

オン/オフ(確認キー)

マシンの右側にあるオン/オフ キーを 3 秒間長押しし、マシンのオン/オフを切り替えます。電源を入れた後、オン キーを短く押すと、電源がオフになり、画面が開きます。

音楽: 起動後、システムのメインインターフェースが表示されます。マシンの右側にあるキーまたは次のキーを短く押して「音楽」アイコンを選択し、再生を短く押してキーを確認し、二次インターフェイスに入ります。すべての曲、最後に再生した曲、アーティスト、アルバム、お気に入りがあります。

すべての曲: 確認キーを短く押してプレイリストに入り、前のキーまたは次の曲を短く押してください

※お気に入りの音楽を選択した後、確認キーを短く押して音楽再生に入ります。

一時停止/再生: 再生キーを短く押すと音声または音楽の再生中に一時停止し、再生キーをもう一度短く押すと一時停止中に再生を再開します。

音量の+または-: 音楽または音声の再生中に、マシンの左リターン キー/V を長押しして、音量の+モードに入り、前/次の曲を押して、次の音量を+または-します。

曲: 音声または音楽の再生中に、前のキーを短く押すと前の曲に切り替わり、次のキーを短く押すと次の曲に切り替わります。

早送り/早戻し: 音声または音楽の再生中に、前のキーを長押しすると早送り機能が使用でき、次のキーを長押しすると早戻し機能が使用できます。

音楽サブメニューのオプション: 音楽再生状態で、メニュー キーを短く押してメニュー機能に入ります。メニュー オプションには、ホームページに戻る、可変速度再生、リピート再生、ブックマーク オプション、お気に入りの追加、イコライザーが含まれます。

ホームページに戻る: 再生キーを短く押すと、ホームページに戻ります。

速度調節: 再生キーを短く押すと、内部で -9 から 9 までの倍速選択があり、前/次を短く押します。

キーを押して選択し、キーを短く押すと、音楽再生インターフェースに戻ります。

リピート再生: 再生キーを短く押すと、リピート再生、ランダム再生があります。

再生キーを短く押すとセットアップが完了し、リターンキーを短く押すと前のインターフェースに戻ります。

ブックマーク: 再生キーを短く押すと、中にブックマークが 5 つあります。

前/次キーを短く押してブックマークを選択し、選択した後、再生キーを短く押すと、現在のブックマークが再生されます。

お気に入りに追加する: 再生キーを短く押した後、お気に入りに追加するかどうかを選択します。

イコライザー: 再生キーを短く押すと、ノーマル、ポップ、ロック、ジャズ、クラシック、ダンス、カントリーなどの効果音が鳴ります。

選択が完了したら、プレーヤー キーを短く押すと設定が成功し、戻るキーをクリックして前のインターフェースに戻ります。

読み取りモード: 音楽の再生中に、メニュー キーを長押しします。

インターフェースの「AB」アイコンが青に変わります。

もう一度再生キーを長押しすると、インターフェースの「AB」アイコンが緑色に変わり、セクションが終了します。メニュー キーをもう一度長押しすると、リピート モードが終了し、インターフェースの「AB」アイコンが白に変わります。

(2) 最後の再生: 再生キーを短く押して、音楽が再生されます。

(3) アーティスト: 再生キーを短く押して、アーティストのカテゴリの曲に入り、表示します。

(4) アルバム: 再生キーを短く押して入力すると、アルバム カテゴリの曲が表示されます。

※お気に入り: 再生キーを短く押すと、お気に入りに含まれる曲が表示されます。

フォルダ: 起動後、システムのメインインターフェイスを表示。前または次のキーを短く押して「フォルダー」アイコンを選択し、再生キーを短く押してフォルダーリストに入ると後でファイルを表示することを選択できます。

ファイルを選択するときメニュー キーを押して、現在のファイルまたはフォルダーを削除するかどうかが選択します。このファイルまたはフォルダーを削除する場合は、「はい」を選択し、再生キーをクリックしてファイルまたはフォルダーを削除します。

※録画フォルダーは内蔵されており削除できません。削除を選択すると、フォルダーの内容が削除されます。

ワンクリック録音: 録音スイッチがオンのときに録音を押すと音声の録音が開始され、録音中に再生キーを短く押すと録音が一時停止され、再生キーをもう一度短く押すと録音を継続し、録音が完了したら録音キーを押して録音を開始します。

※

(1) 録音ライブラリ: 再生キーを短く押して、録音ファイルのリストに入ります。

(2) 録音ビットレート: WAVフォーマット(PCMリニア録音)のビットレートは 512kbps/1536kbps/3072kbpsの3ビットレート

(3) ノイズリダクションスイッチ: ノイズリダクション機能がオンの場合、ノイズの一部を除去できます。

(4) 音声記録シーン: 「クローズ、インタビュー、会議、ステーション、授業」を含む。ユーザーは自分のシーンに合わせて選択できます。

録画セグメント: 閉じた状態または開いた状態を設定できます。

30 分、60 分、120 分 (オプション)。

セグメント録画がオンの場合、録画プロセスは設定された時間に従って録画ファイルを自動的に保存します。

音声制御録音: 音声制御機能をオフまたはオンに設定できます。

注:「オンサウンドコントロール」がオンになっていると、録音状態で周囲の音を自動的に感知します。

※「ペアリングされたデバイス」は、以前に接続したデバイスを表示して接続します。「利用可能なデバイス」をクリックして、接続する新しい Bluetooth デバイスを検索します。

通話モード: このモードは、携帯電話または WeChat に接続された通話を録音するために使用されます。

携帯電話を接続した後、このコンピュータから電話をかけると音声録音をこのコンピュータに保存できます。

着信があった場合、再生キーを短く押すと通話に応答し、再生キーを短く押すと通話中に電話を切ります。

(Bluetooth名は HW-XX です)。

接続方法: 通話モードで、コンピューターのBluetoothをオンにし、携帯電話に表示される「デバイス名」を検索し、後で接続をクリックします。

※設定:

電源を入れた後、システムのメインインターフェースを表示する。前または次のキーを短く押して「設定」アイコンを選択し、再生キーを短く押します。

(1) 言語: 簡体字中国語、英語、その他の言語をサポートします。

(2) 日時: 日時を設定できます。

(3) 明るさ: 画面の明るさを選択します。

(4) スポット画面設定: 画面の明るさ、画面の時間、スクリーンセーバー、スクリーンセーバーの時間を設定できます。

アイドル シャットダウン

情報: デバイス情報の表示

ストレージステータス: ローカルストレージの合計容量、利用可能な容量を表示します。

工場出荷時の設定: 工場出荷時の設定を復元するかどうかを選択できます。

プレイリストの更新: クリックしてプレイリストを更新します。

シークレットコードを開く: シークレットコードスイッチを開きます。

シークレットコードを使用する必要がある場合は、オンにします。

パスワードの変更: 新しいパスワードを設定するには、最初に元のパスワードを入力し、元のパスワード「9999」を入力した後、新しいパスワードを設定します。